



2023年5月9日

各 位

会 社 名 マックス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 黒沢 光照  
(コード番号 6454 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役上席執行役員 角 芳尋  
(T E L 03-3669-8106)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2023年1月31日に開示いたしました「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします(訂正箇所は\_\_\_\_線で示しております)。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

## 記

### 1. 訂正の理由

「2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の発表後に、記載内容について一部誤りがあることが判明したため、訂正するものであります。

### 2. 訂正の内容

#### (1) 添付資料4ページ

#### 1. 当四半期決算に関する定性的情報

#### (2) 財政状態に関する説明

#### 【訂正前】

##### キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が 15億7千4百万円増加したことにより、248億7千6百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、50億2千7百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が81億7千8百万円、減価償却費が22億1千4百万円、一方で主な減少は、売上債権の増減額が10億9千2百万円、棚卸資産の増減額が22億7千万円、法人税等の支払額が28億4千7百万円です。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7億7千7百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が34億1千8百万円、一方で主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が14億4百万円、有形固定資産の取得による支出が26億3千1百万円です。

**【訂正後】**

## キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、現金及び現金同等物の増減額が17億8千万円増加したことにより、242億1千5百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、50億2千7百万円となりました。主な増加は税金等調整前四半期純利益が81億7千8百万円、減価償却費が22億1千4百万円、一方で主な減少は、売上債権の増減額が10億9千2百万円、棚卸資産の増減額が22億7千万円、法人税等の支払額が28億4千7百万円です。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、5億7千2百万円となりました。主な増加は、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入が34億1千8百万円、一方で主な減少は、有価証券及び投資有価証券の取得による支出が14億4百万円、有形固定資産の取得による支出が26億3千1百万円です。

## (2) 添付資料 10, 11 ページ

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

**【訂正前】**

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,203	△1,404
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,300	3,418
有形固定資産の取得による支出	△3,689	△2,631
有形固定資産の除却による支出	—	△29
有形固定資産の売却による収入	7	6
無形固定資産の取得による支出	△173	△156
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	26	27
資産除去債務の履行による支出	—	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△2,734</u>	<u>△777</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△744	△0
配当金の支払額	△2,288	△3,024
リース債務の返済による支出	△192	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,225	△3,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	415	550
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	<u>△1,622</u>	<u>1,574</u>
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	23,302
現金及び現金同等物の四半期末残高	<u>19,798</u>	<u>24,876</u>

## 【訂正後】

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△519	△433
定期預金の払戻による収入	—	638
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,203	△1,404
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	2,300	3,418
有形固定資産の取得による支出	△3,689	△2,631
有形固定資産の除却による支出	—	△29
有形固定資産の売却による収入	7	6
無形固定資産の取得による支出	△173	△156
貸付けによる支出	△1	—
貸付金の回収による収入	26	27
資産除去債務の履行による支出	—	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,253	△572
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△744	△0
配当金の支払額	△2,288	△3,024
リース債務の返済による支出	△192	△200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,225	△3,225
現金及び現金同等物に係る換算差額	392	550
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,164	1,780
現金及び現金同等物の期首残高	21,421	22,435
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,256	24,215

以上